

進路指導室へようこそ2

令和6年度 MJ 進路通信 第38号

前橋女子高校進路指導部

令和5年12月13日(金)発行

■合格だるまが棟間通路に祀られました！



先日の「合格だるま目入れ式(3学年かくし芸大会ではない)」で披露され、片目に魂が宿った合格だるま。先生方の激励メッセージをまとい、3階棟間通路に鎮座しています！



■冬休みの準備をしよう

今年も残すところわずかとなり、もうすぐ新年を迎えます。1・2年生は来年4月には1つ上の学年に進級します。受験に向けた準備を今まで以上に意識する時期となります。受験生になる前に、これまでの学習などについて、この冬に意識すべき3つのポイントをまとめておきます。

①これまでの学習の「量」と「質」を再度見直そう

自分の学習スタイルを「量」と「質」の観点から振り返り、各観点で○△×の自己評価とその評価の理由、よかった点、反省点などを書きあげてみよう。

この時期成績を伸ばした受験生の多くに共通しているのは

- ・毎日一定の学習時間(特に休日)を確保している
- ・学習開始時間が一定である
- ・「暗記」よりも「理解」を重視した学習を行っている

などです。

②過去に受けた定期試験や模試の結果を振り返ろう

定期テストや模擬試験で間違えた問題は、自分の「伸

びしろ」です。冬休み中にじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。必ず、力になります。復習のポイント

- ・今までの定期テストや模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ・自己採点をする。この時、「答えがあっていたか」よりも「考え方がちゃんと正しかったかどうか」に注意して採点する。
- ・「考え方が正しくなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ・「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの癖」を認識して、もう一度問題を解き直す。

冬休みは年末・年始にあたり慌ただしい時期ですが、これまでの復習を行うチャンス。何から始めればよいのか迷っている人は、まず今までのテストを全部見直してみよう。必ず、自分の課題が見えてきます。

③志望校・進路について改めて考えてみよう

次年度0学期は「志望校の選択肢を広げる時期」です。

自分が日頃、興味や関心のある分野について学べる大学・学部・学科の情報を広く集めてみましょう。そのなかで、自分が将来やりたいことをよく考え、志望校を絞り込んでみましょう。

※進路を振り返るためのヒント(チェックをいれてみよう)

- その学部・学科を志望した理由は何か
- その大学を志望している理由は何か
- 自分がその大学や学部・学科で学んでいる姿がイメージできるか
- 難易度だけで志望校を決めていないか
- 進学後や大学卒業後に「やりたいこと」「なりたいもの」はどんなことか

■3年生がこの冬にやっておくべきこと

(勉強を頑張るのは当たり前として・・・)

先日、3年生が受験する共通テストの受験票が届きました。本物の受験票を手にし、緊張感も一層高まったのではないのでしょうか。共通テストの会場は前橋女子高校。慣れ親しんだ校舎での受験は皆さんに大きな力を与えてくれるはず(ただし、浮かれてはいけません)。3者面

談も終了し、1か月後の共通テストに向けて勉強を頑張るのみ、と言いたいところですが、実はこの1か月にしっかり準備しておかなければいけないことは結構あります。これからの3か月は「備え」の重要性を嫌というほど感じるとは思いますが、さしあたり今月のうちにやっておくべきことをまとめておきます。

①生活を朝型に切り替える

→共通テストの開始時間にあわせて勉強を始める習慣を。

②予防接種等の準備（ご家庭の判断になります）

③受験カレンダーの完成

④願書の取り寄せ、出願の準備

→受験する可能性のあるものはすべて用意しておく。意外と盲点なのはプリンタ関係。いざ印刷しようと思ったらインク切れ、ということのないよう予備インクも準備。

⑤宿泊地の確保、学割の申請

→国立前期日程は2月の3連休と重なるため観光地などはホテルが確保しにくい状況にあります。推薦入試の発表や共通テスト後にはキャンセルが出やすくなります。

⑥調査書発行願、写真、資格証明書等の準備

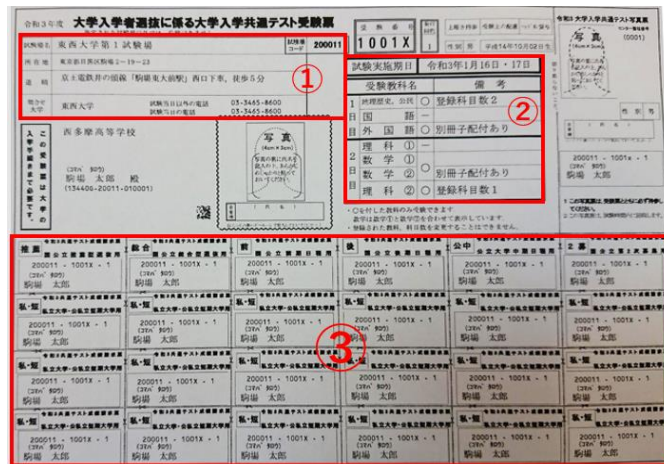
→共通テスト利用私大の出願手続は、年明け早々に開始され、共通テスト前日が締切というものが圧倒的です。直前になって慌てないよう、冬休みのうちに調査書以外の準備は全て整えておき、3学期始業式に調査書を受け取ったらその足ですぐに出願する、くらいの意識は絶対です。

■手続きは初日に済ませるつもりで

年明けは私大の共通テスト利用入試、一般入試、国立大の学校推薦型入試など、出願に向けての手続きが慌ただしくなります。通常、出願は1/6(月)~1/17(金)のように、一定の期間が指定されています（当然1日でも遅れたら受理してもらえない！）。早く出せば合格の可能性が上がるわけではないですが、こういう出願というのは「初日に到着する」つもりで準備するのが鉄則です。受験生にとって一番大事なのは「勉強の時間を確保すること」。そのためにも出願手続は早めに済ませて、いち早く勉強に専念するのが大事。

また、私大一般入試では、願書到着順に受験会場が指定される場合もあります。受付が遅いと、自宅や宿泊地から遠い会場を指定されることもあります。面接を課す入試では順番が早くまわってきて早く帰れる可能性がありますし、合格発表で番号を探すのも楽です。受けると決まっている大学は、誰よりも早く手続きを済ませることが、実は合格の可能性を高めることにつながるのです。

■共通テストの受験票って、こんな感じ



1・2年生の皆さんは、共通テストの受験票というものを見たことがある、という人はそれほど多くはないでしょうね。

共通テストの受験票は、上の写真のようなもので、受験に関するさまざまな情報が載っています。主な特徴としては

- ほぼA4サイズの大きさだがなぜかピッタリA4ではない。よって、A4のクリアファイルに入れるとはみ出してしまう。
- 受験票の下半分には、クーポン券のようなチケットがたくさんついている。これは、国立大や共通テスト利用私大の受験の際、自分の共通テストの得点データの申請のために必要なものであり、決して受験料の割引になるものではない。
- 上半分には受験者情報に加え、受験科目や受験会場、受験番号等が記載されている。

1・2年生の教室には、今年度の「受験案内」を閲覧用に用意しますので、実際の出願書類を手にとりて中身を確認してみてください。

■共通テスト志願者数確定（大学入試センター発表）

大学入試センターから、今年度の共通テスト志願者数などの情報が公開されました。このところ減少傾向にあった受験生数は増加、また、現役生占有率も過去最高。同じ条件の高校生どうしの勝負が中心の受験です。

- 志願者数 495,171 人（対前年度比 3,257 人増）
- 現役生志願者 425,968 人（同 6,434 人増）
- 現役志願率 45.5%（過去最高）
- 共通テスト利用大学：698 大学
 - 国立大（176 大学：全大学）
 - 私立大学（522 大学）